

西谷浄水場の再整備における導水施設整備工事の工程遅延と今後の見通しについて

西谷浄水場の再整備における導水施設整備工事については、立坑築造工やシールド工の進捗に遅れが生じていましたが、その原因を精査した結果、最大2年6か月の工程遅延が生じる見通しとなりましたので報告します。

1 遅れの原因と見通し

(1) 立坑築造工

先行して進める旧旭・瀬谷地域サービスセンター敷地内の立坑築造工(写真1)は、進捗が計画の約1/2に留まっています。原因は、鉄筋コンクリートの躯体築造に時間を要していることや、地下深くの地盤の性質に対して掘削機械が十分対応できていないことなどが挙げられます。

並行して工事を進めている西谷浄水場敷地内の立坑築造工においても、同様の遅れが想定され、完成が約10か月遅れる見通しとなりました。

(2) シールド工

先行して進める川井接合井立坑からのシールド掘進(写真2)は、進捗が計画の約1/3に留まっています。原因は、セグメントを効率的に組み立てるためのプログラムが稼働できていないことや、地盤の性質に対してシールドマシンが十分対応できていないことなどが挙げられます。

今後発進する西谷浄水場立坑からのシールド工においても、同様の遅れが想定され、完成が約1年3か月遅れる見通しとなりました。

今後発進する西谷浄水場立坑からのシールド工においても、同様の遅れが想定され、完成が約1年3か月遅れる見通しとなりました。

(3) 管路布設工

管路布設工は、シールドトンネル完成後に工事を開始しますが、詳細設計の結果として管の厚みを変更したことで溶接作業に時間を要するなど、完成が約5か月遅れる見通しとなりました。

2 導水施設整備工事全体の完了時期

当初契約時点においては、令和15年3月の契約履行期限に対して、請負事業者の技術提案により工事完了時期を8年度に設定しました。その後、施工中に発生した漏水事故の影響や現場条件の変更を踏まえ、工事完了時期を9年度に見直しました。

今回明らかになった遅れをすべて反映すると、更に2年6か月遅延し、工事完了時期は12年4月になります。工事の遅れを少しでも短縮できるよう、地盤の性質に対応できる掘削機械への変更、シールドマシンの改良、地盤の性質を変える補助工法の採用など、請負事業者と協力して検討します。



図 導水施設整備工事の整備範囲



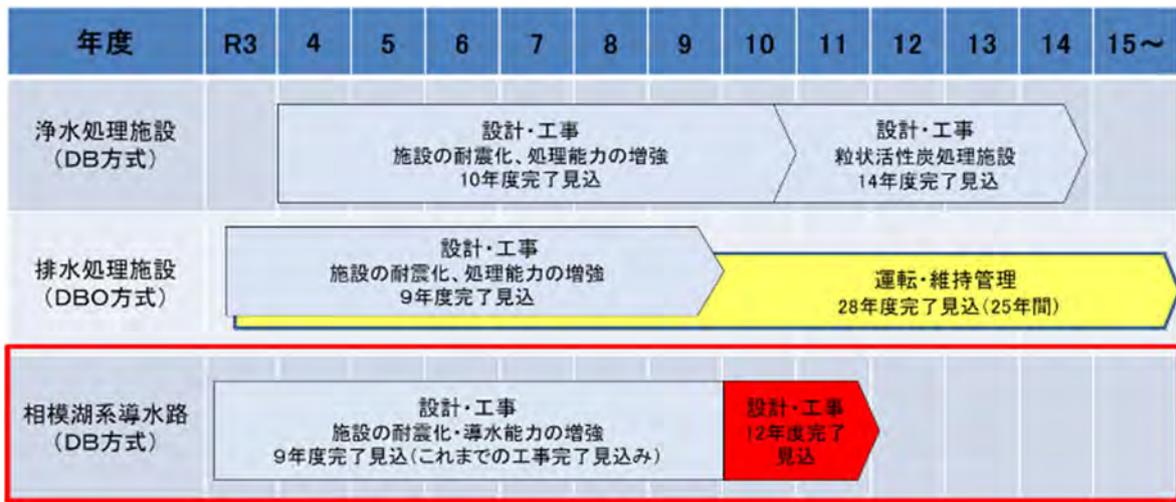
写真1 立坑築造工

写真2 シールド工

3 工程遅延による市民への影響

西谷浄水場では、導水施設整備工事が完了するまでの間は、既設導水路から原水を取水するため、市民給水に影響はありませんが、工事現場の地域の皆さまには、騒音振動など長期間にわたりご不便をおかけすることになります。引き続き、整備工事への御理解と御協力をいただけるよう、周辺環境への配慮や丁寧な情報提供に努めていきます。

【参考1】西谷浄水場の再整備 事業スケジュール（令和6年9月現在）



【参考2】導水施設整備工事の契約概要（令和6年9月現在）

工事名称	相模湖系導水路（川井接合井から西谷浄水場）改良事業に係る導水施設整備工事
請負事業者	清水・鴻池・中鉢建設共同企業体
契約期間	令和3年4月～15年3月
契約額	26,684,891,106円（税込み）